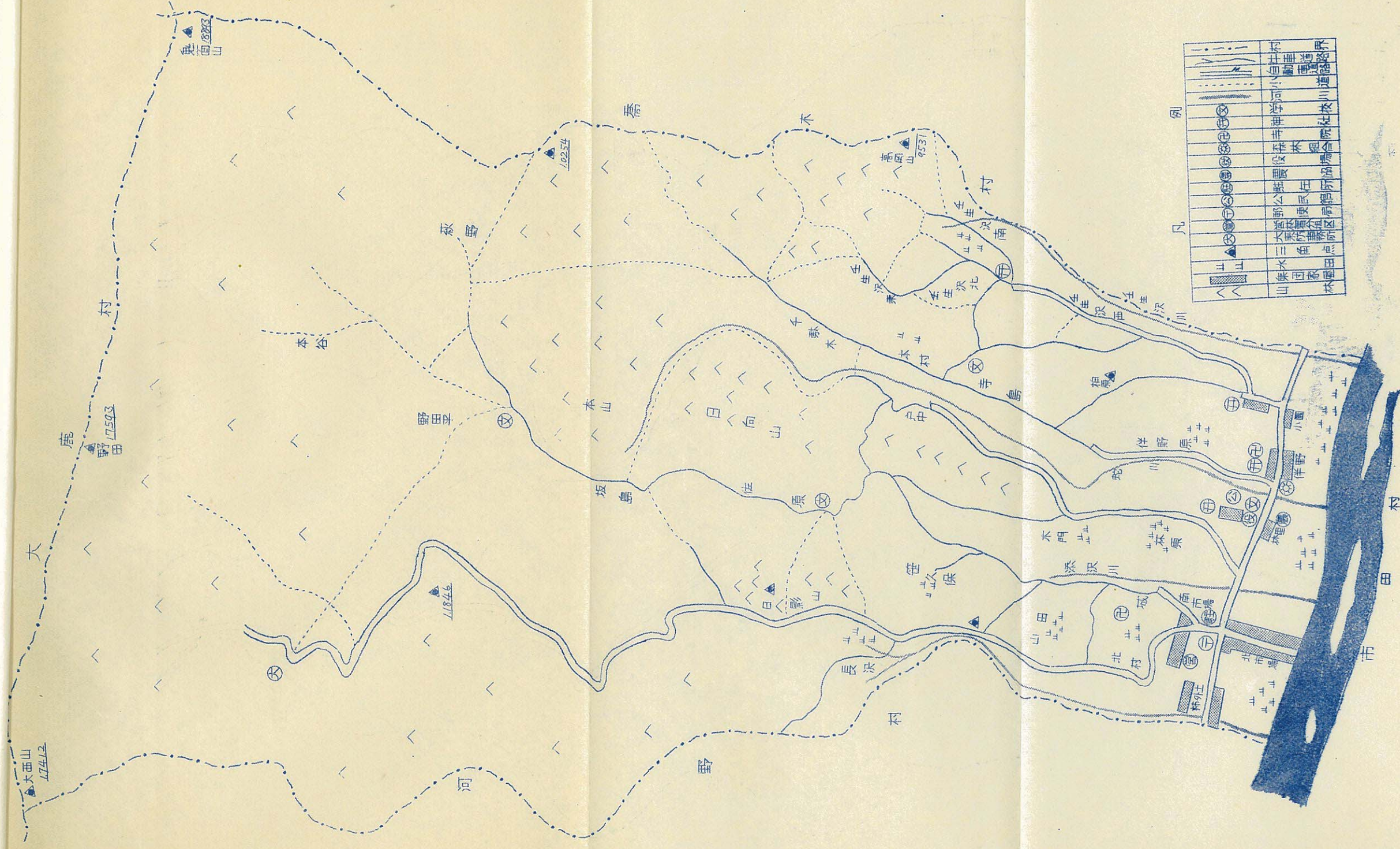


昭和 29 年 5 月 調

村 勢 要 覽

長野縣下伊那郡

神 稻 村 役 場

[illegible]

昭和29年5月調

神 稻 村 勢 要 覽

長野縣下伊那郡神稻村役場

役所 役場 位置	大 字	小 字	地 番 号	海 抜	最寄鉄道駅名又は バス停留所名	同左からの 距 離	県庁所在地 からの距離	地方事務所所在 地からの距離	支所・出張 所数					
		西横道通	3.659	428 ^m	信南バス林停留所 シ 伴野 シ	100 ^m 100	Km 156.8	Km 9.7	—					
大字数	部世 落名と その数	田 村	483	福 島	93	役場から最 遠の部落名 (林) 野 田 平 同 上 距 離 10,000 ^m								
		林	310											
部落数 29.4.1		伴 野	283											
5		壬 生 沢	92											
土 地 面 積 種 別	土 地 台 帳 登 載 土 地 (29.1.1)	面 積		100分比		地 積		評 価 額		反 当 価 額	筆 数			
		総面積	Km ² 54.77	100.0		総 数	4,397.3 ^{丁反}	169,445 ^{千円}			18,364			
		耕 地	5.83	10.7		總 数	945.3	169,445		17,924 ^円	18,364			
		森 林	43.23	79.0		田	284.7	105,621		37,099	6,833			
		原 野	.42	.8		畑	306.7	39,783		12,971	6,429			
		その他	5.23	9.5		宅 地	(反別換算) 34.0	18,960		坪当 185	1,710			
		適住地	総面積から森林原野と主な湖沼の面積を差引いた残りの面積					山 林	111.8	2,584	23,112	1,564		
		(再掲)	6.20	.		牧 場	—	—		—	—			
		広ばう	東西	Km	南北	Km	周囲	Km	原 野	205.0	2,483	12,112	1,787	
		隣接 市町 村名	喬木村	市田村	河野村	そ の 他		3.1	14	451	41			
	大鹿村	上 村	非 課 税 地		3,452.0				—					
気 象	観測機関名	気 温		降 水 量	結 霜		無霜期間	降 雪		積雪の 深さ最深				
	神稻中学校	最 高	最 低		平 均	初 月 日		終 月 日	初 月 日		終 月 日			
	昭和26年	°C 37.5	(-) °C 9.7		°C 13.1	mm 174		10月23日	5月12日		155日	11月15日	3月18日	cm 5
	27	36.3	(-) 12.4		13.3	170		11. 4	4. 23		188	1. 26	4. 2	23
	28	36.1	(-) 11.5		12.5	215		11. 7	4. 21		175	12. 27	2. 15	37
人 口	世 帯 数	人 口			總人口	1世帯に付	女 100	人口密度(1方軒に付)						
		總 数	男	女				指 数	人 口	に 付 男	總 面 積	適住地面積		
		昭和15.10.1国調	1,145	5,991	3,001	2,990	100	5.2	100.3	109	977			
		25.10.1 ≧	1,259	6,953	3,431	3,522	116	5.4	97.4	127	1,134			
		26.10.1概数	1,278	6,925	3,428	3,497	116	5.4	99.1	127	1,130			
		27.10.1 ≧	1,272	6,829	3,361	3,468	114	5.3	96.9	125	1,114			
		28.10.1 ≧	1,256	6,708	3,311	3,397	113	5.4	97.0	123	1,101			
		29. 4.1 ≧	1,254	6,650	3,285	3,365	110	5.3	97.6	121	1,087			
		29.4.1本籍人口	8,383									607		

年齢階級別人口 25・10・1	年齢階級	總 数	男	女	總 数 1000分比	年齢階級	總 数	男	女	總 数 1000分比
	總 数	6,953	3,432	3,521	1,000	40 ~ 44	376	154	222	54
	0 ~ 4	770	414	356	111	45 ~ 49	370	178	192	53
	5 ~ 9	804	399	405	116	50 ~ 54	347	177	170	50
	10 ~ 14	850	434	416	122	55 ~ 59	287	139	148	41
	15 ~ 19	546	307	239	79	60 ~ 64	246	129	117	36
	20 ~ 24	617	316	301	89	65 ~ 69	179	81	98	26
	25 ~ 29	539	241	298	78	70 ~ 74	133	55	78	19
	30 ~ 34	417	192	245	63	75 ~ 79	72	33	39	10
	35 ~ 39	356	174	182	51	80 以上	24	9	15	2
産業別就業人口 25・10・1		總 数	男	女		世帯主の労働力及び産業	世 帯 数	世帯人員		
	總 数	3,397	1,966	1,431		總 数	1,289	6,912		
	農 業	2,344	1,186	1,158		總 数	1,205	6,571		
	林 業 及 び 狩 猟 業	78	61	17		總 数	1,200	6,555		
	漁業及び水産養殖業	1	1	—		農 業	779	4,494		
	鉱 業	6	5	1		林 業、狩 猟 業	27	133		
	建 設 業	218	214	4		漁業、水産養殖業	1	1		
	製 造 業	282	172	110		鉱 業	—	—		
	卸売業及び小売業	147	85	62		建 設 業	88	464		
	金融保険及び不動産業	5	2	3		製 造 業	91	454		
地位別就業人口 25・10・1	運輸通信及び其他公益事業	66	60	6		卸売業、小売業	71	312		
	サ ー ビ ス 業	201	144	57		金融保険不動産業	1	3		
	公 務	49	33	13		運輸通信公益事業	26	133		
	分類不能の産業及び不詳	—	—	—		サ ー ビ ス 業	93	443		
	總 数	3,397	1,966	1,431	100.0	公 務	23	118		
	業 主	1,226	964	262	36.1	分類不能の産業	—	—		
	家族従業者	1,424	410	1,014	41.9	完 全 失 業 者	5	16		
	雇 用 者	747	592	155	22.0	非 勞 働 力	84	341		
						勞 働 力 状 態 不 詳	—	—		
	人口動態	出生 死亡	死亡のうち 乳児死亡	自然増加	死 産	婚 姻	離 婚	転 出	転 入	転出入 の 差
26年		135	57	2	78	1胎	57件	5件	523	477 (-)46
27		129	62	4	67	2	71	6	493	367 (-)123
28		123	42	1	81	2	61	7	509	314 (-)195
26年		19.0	8.0	出生1000に付き 29.0	11.3	1胎	8.3	7	74.0	69.0 (-)6.6
27		19.0	9.8	30.8	9.6	3	10.4	9	72.0	52.7 (-)18.5
28		18.5	6.3	8.1	12.2	3	9.2	1.0	73.2	45.2 (-)28.0
住宅居住の一般世帯 昭25.10.1		昭25年10月~12月	昭 和 26 年	昭 和 27 年	昭 和 28 年	昭 和 28 年 未 住 宅 数	昭 和 28 年 住 宅 数			
世 帯 数		世帯人員	建 築 減 失 住 宅 数	建 築 減 失 住 宅 数	建 築 減 失 住 宅 数	建 築 減 失 住 宅 数	建 築 減 失 住 宅 数			
1,259		6,953	14	—	9	—	4	1	1	—
家屋帳 29・1・1	總 数	課 税 対 象 家 屋	課 税 対 象 家 屋	課 税 対 象 家 屋	課 税 対 象 家 屋	課 税 対 象 家 屋	課 税 対 象 家 屋	課 税 対 象 家 屋	課 税 対 象 家 屋	
	個 数	1,153	1,149	—	2	—	2	—	63	
	床 面 積	60,397坪	59,724坪	—坪	624坪	—坪	49坪	—坪	4,462坪	
	評 価 格	117,118千円	115,384千円	—千円	1,669千円	—千円	65千円	—千円	—	
	坪 当 価 格	1,939円	1,932円	—円	2,675円	—円	1,327円	—円	—	

事業所(民公営)	事業所数	従業者数	規模別(従業者数による)事業所数													
			1 ~ 45	45 ~ 99	100 ~ 199	200 ~ 499	500 ~ 999	1000 以上								
事業所(民公営)	総数	157	483	145	5	—	4	3	—	—	—	—				
	A 農業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	B 林業、狩猟業	1	41	—	—	—	—	1	—	—	—	—				
	C 漁業、水産養殖業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	D 鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	E 建設業	20	28	19	1	—	—	—	—	—	—	—				
	F 製造業	21	62	18	2	—	1	—	—	—	—	—				
	G 卸売業、小売業	61	107	60	1	—	—	—	—	—	—	—				
	H 金融業、保険業	2	72	—	—	—	1	1	—	—	—	—				
	I 不動産業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	J 運輸通信公益事業	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—				
K サービス業	50	171	46	1	—	2	1	—	—	—	—					
農家人口	農家数					農家人口			農家1戸当人口	総世帯数100に付農家数	総人口100に付農家人口					
	総数	専業	兼業	総数	農業主	農業従	総数	男	女							
	昭和26年末	969	372	597	414	183	5,624	2,754	2,870	5.7	75.8	81.2				
	27 年	963	370	593	415	173	5,380	2,570	2,810	5.6	77.7	78.3				
	28. 8. 1	933	370	593			5,230	2,540	2,690	5.4	76.8	78.6				
経営耕地広狭別農家数(普通農家)	総数	5畝以上3反未満	3反~5反	5反~1町	1町~1.5町	1.5町~2町	2町~3町	3町~5町	5町以上							
	昭和25. 2. 1	969	205	174	388	157	34	10	1	—						
	28. 8. 1	933	199	174	388	157	34	11	—	—						
農家経営耕地	田		樹園地及び畑		樹園地			畑		農家1戸当						
	総面積	1毛作	2毛作	その他	果樹園	桑園	その他	普通畑	その他	田	樹園地及び畑					
	丁反	丁反	丁反	丁反	丁反	丁反	丁反	丁反	丁反	反	反					
	昭和26年末	228.9	90.7	138.2	261.7	2.7	131.6	.1	155.8	1.5	2.4	3.0				
	27 年	228.9	90.7	138.2	291.7	5.8	132.7	.1	151.6	1.5	2.4	3.0				
	28. 8. 1	228.9	90.5	138.4	291.7	5.8	132.7	.1	151.6	1.5	2.4	3.0				
農機具	原動機		動力作業機							農家1戸当						
	電動機	内燃機	揚水機	耕耘機	脱穀機	噴霧機	精米機	稲摺機	精麦機	精粉機	ハンドトラクター					
	昭和27. 8. 1	40台	30台	—台	—台	56台	3台	16台	50台	—台	13台	—台				
	28. 8. 1	40	30	—	—	56	3	16	50	—	13	2				
家畜・家さん	牛		馬	豚	綿羊	山羊	兎	鶏	と畜場数							
	乳牛	役肉牛							(頭数)	26年	27年	28年				
	昭和26年末	飼養農家数	89	95	27	53	130	184	220	793	成牛	—	3	—		
		飼養頭羽数	95	355	40	169	188	207	510	1,520	こうし	—	—	—		
	昭和27年末	飼養農家数	95	390	30	150	120	110	480	280	馬	—	—	—		
		飼養頭羽数	100	400	30	412	291	264	895	2,120	豚	—	—	—		
	昭和28. 8. 1	飼養農家数	95	390	20	150	120	93	483	270	綿羊	—	—	—		
		飼養頭羽数	102	420	20	370	350	220	920	1,880	山羊	—	—	—		
主要農作物	收穫面積		推定実収高	反	收穫面積	推定実収高	反	收穫面積	推定実収高	反	收穫面積	推定実収高	反	收穫面積	推定実収高	反
	作物名	米			作物名	麦			作物名	麦			作物名	豆		
	26年	206.3	5.241	2,540	26年	56.0	1,400	2,500	26年	59.2	823	1,390	26年	41.1	143,850	350
	27年	205.9	5.114	2,484	27年	44.4	1,349	3,038	27年	60.6	1,442	2,380	27年	35.3	123,550	350
	28年	205.9	3.763	1,827	28年	55.3	1,600	2,890	28年	67.1	1,300	2,086	28年	29.5	94,400	320
	作物名	蕎麥			作物名	薯			作物名	豆			作物名	豆		
	26年	41.1	143,850	350	26年	34.0	85,000	250	26年	29.0	290	1,000	26年	15.0	90	600
	27年	35.3	123,550	350	27年	32.5	81,900	252	27年	31.3	382	1,220	27年	15.9	99	623
	28年	29.5	94,400	320	28年	25.1	83,000	223	28年	37.9	460	1,200	28年	11.9	70	588
	作物名	大豆			作物名	ね			作物名	ね			作物名	ね		
	26年	15.0	90	600	26年	7.9	55	700	26年	5.0	35,000	700	26年	15.0	90	600
	27年	15.9	99	623	27年	7.9	95	1,203	27年	5.3	47,000	887	27年	15.9	99	623
28年	11.9	70	588	28年	9.2	92	1,000	28年	5.1	31,000	607	28年	11.9	70	588	

社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保
社会事業	生活保護	児童福祉	身体障害者福祉	その他	隣保

主要施設機関の名称、位置	神 稲 村 役 場	神 稲 村 中 学 校 野 田 平 分 校
	農 業 協 同 組 合	小 学 校 本 校
	森 林 組 合	小 学 校 佐 原 分 校
	巡 査 駐 在 所	小 学 校 野 田 平 分 校
	郵 便 局	小 学 校 壬 生 沢 分 校
	稚 蚕 飼 育 所	公 民 館
	共 済 組 合	飯 田 営 林 署 神 稲 分 担 区
	建 設 有 限 会 社	中 部 電 力 神 稲 出 張 所
	中 学 校 本 校	
沿革	本村は王朝時代上西門院統子内親王の御料所であつた伴野庄の中心地域であり、鎌倉時代の初め地頭小笠原長清によつて管せられ、後、知久氏が来て久堅に拠るに及んで同氏によつて統治せられて、吉野、室町の両時代を経過した。戦国の世となつてから、或は武田、織田、豊臣の諸氏の支配する所となつたが江戸時代になつて徳川氏の治政が安定するに及んで、田村は阿島の知久氏の知行所となり、伴野村、福島、壬生沢分は美濃の高須藩松平氏の所領となつて山本村の竹佐代官所の支配下に置かれ林村は幕府の直轄地即ち天領となつて、飯島代官所の差配に属した。従つて明治維新の際は田村、林村、伴野村、福島分、壬生沢分の五地域となつていたのである。 所が明治二年に田村と林とは伊那県に、伴野、福島、壬生沢は名古屋県に属し、同四年五地域は共に筑摩県の管轄下に入り、同八年五地域が合併して神稲村を称する様になり、同九年長野県に属して今日に至つてゐる。	
位置地形及び地質	下伊那郡の龍東北部に位し、下伊那地方事務所を距ること東北に約八軒の地点、東は鬼面山（1,889.3米）及び大西山（1,741.2米）を境にして下伊那郡大鹿村・上村に接し南は高関山（993米）を限つて喬木村に隣して居る。又西は天龍川を隔て市田村に對し、北は河野村に接している。東に伊那山脈が連亘して西に向つて傾斜し、段丘数階を下つて天龍河畔の沖積地に達している。伊那山脈の山頂及び其の附近は眼球片摩岩、其の他の山地一帯は花崗片摩岩を以つて組成せられて居り、其の間を縫つて領家片摩岩の露出が見られる。又蛇川の中流左岸の一地域には礫斑岩を得べく、川によつて削られた段丘崖には集塊岩の脈層があざやかである。源を鬼面山、大西山に発して村を南北に中斷して貫流する蛇川。東部の丘陵にその源流を発する漆沢川。北部の山地から出て河野村に接して流れる芦部川、南部の山間を流して喬木村との境を限る壬生沢川。之等四川は何れも其の清流を天龍川に注いでゐる。秀麗な之等の山河の間は地味が概ね肥沃で或は育まれて緑したたる林地、採草地となり、或は拓かれて畑となり、灌がれて水田となつてゐる。東西一二軒、南北四軒面積五四・七七平方軒（3方里二分）あり、世帯数1,258（昭29.4.1）人口6,650人（昭29.4.1）の大村である。	
参考	1、村の重要文化財 （1）伴野南堂の阿弥陀如来座像 作者は不詳であるが新納古拙氏によつて室町時代のもものと鑑定されている。其の温容端麗な姿正に村の重要文化財である。後世の補修があるのが遺憾である。 （2）弥生式時代の遺跡地 林里の河原田、横道通は弥生式土器、石器の出土多く当時の住居跡の歴然たるものあり出土物の中の遺賀川式土器と林里式土器（特殊の様式文様をほどこされているもの）とは貴重な研究資料として学界に注目せられてゐる。 2、村の無形文化財 田村、林、伴野、福島、壬生沢等の春祭を中心とした獅子舞、囃は其の由来する所も古く民芸として伝承せられて今日に至つてゐる。舞の手振、音曲など何れも地方色がゆたかで無形文化財として保存されるべきものである。	

られて今日に至っている。舞の手振、音曲など何れも地方色がゆたかで無形文化財として保存されるべきものである。

3、天然記念物

長沢の彼岸桜と源道地の庚申松とは古木名木として、又村内の各所に於て散見される「クダザキヤマジノギク」は植物形態学上の見地から何れも本県の天然記念物の指定を受けている。

4、開発工事

(1) 明治井

大池原、柏原、源道地、道前垣外に亘り15町歩の墾田を可能ならしめた明治井は測量も施工もまだ幼稚であつた明治の初年上戸中から蛇川を揚水して延々約8軒の間に十数箇所の隧道を穿つ難工事を完成した用水路で本村開発記念の一つである。

(2) 伴野堤防

蛇川が天龍川に合流する一の刻から小園に至るまでの約1軒の堤堤は明治中葉の施工で之が完成した、ゆ伴野小園地域で(35)町歩の水田を拓くことが出来たばかりでなく曾つて年々見舞はれた水災の災を免れることを得た本村開発史の一頁を飾ることが出来るものである。

○歴代村長

1代	自明治8年10月 至明治12年6月	大 原 伴 衛	7代	自大正9年11月 至大正13年8月	大 原 慶 一
2代	自明治12年6月 至明治15年6月	河 野 銀 三 郎	8代	自大正13年8月 至昭和6年3月	平 沢 万 太 郎
3代	自明治15年7月 至明治26年5月	大 沢 僊 太 郎	9代	自昭和6年5月 至昭和21年9月	片 桐 正 治
4代	自明治26年6月 至明治28年12月	河 野 銀 三 郎	10代	自昭和22年4月 至昭和26年3月	平 沢 桂 二
5代	自明治28年12月 至明治36年9月	大 原 慶 一	11代	自昭和26年4月 至 現 在	三 石 善 雄
6代	自明治36年10月 至大正9年11月	片 桐 達 治			

○神稲村村会議員

菅 沼	茂 平	森 北	田 原	資 嘉	信 平	酒 森	井 田	三 千 虎
林 高	田 桂	一 作	元 福	純 保	治 穂	原 福	沢 国	強 文 好
池 野	頼 正	吉 造	沢 松	忠 人	穂 守	原 福	沢 朝	男 松
原 福	沢 源	造 男	池 大	田 沢	嘉 雄	福 沢	も も ち	計 二十一名
松 尾	初 君	造 酒	井 井	豊 美				
宮 外								

村 長

三 石 善 雄

村 会 議 長

池 田 守

助 役

片 桐 千 章

収 入 役

今 村 晴 男